

令和2年度 第2学期始業式 校長式辞

残暑の厳しい日々が続く中、朝晩や日中に時より吹く一時の風や、空に浮かぶ雲も秋を知らせるものであることに気付かされる8月後半、いつもより短めの夏休みが終了し、今日から2学期を迎えます。飯沼中学校の生徒諸君にとって、今年の夏休みはどんな夏休みだったでしょうか。とにかく暑い夏休み、外出に気を遣う夏休み、期間の短い夏休み、部活動の活動が制限され、大会や練習試合などのない夏休み、そして3年生にとっては、卒業後の自分の進路を考え、目標に向けて精一杯の努力をした夏休みであったことと思います。

今日から2学期が始まります。2学期の始業式にあたり、校長からみなさんへ、2つ話をします。1つ目として、2学期はみなさん知ってのとおり、期間の一番長い学期です。これから気候も涼しくなり、過ごしやすくなります。そこでみなさんには、2学期の過ごし方として、様々な事をじっくりとよく考えて、1日1日を、そして、1つ1つの活動を大切に取り組んでももらいたいと思います。

みなさんはもちろん、世の中の誰にも、何の罪も責任もありませんが、新型コロナウイルスの関係で、今年は、休校に始まり、部活動の大会や学校行事がすべて中止となり、この先もどうなるのか誰にもわかりません。このことは今年度に限ったことではありません。1、2年生の生徒諸君も卒業まで今年と同じような状況になるかもしれません。そこで、本校のすべての生徒諸君に校長の私から伝えたいことがあります。それは、変えられない事実を嘆いてばかりいるのではなく、見方や考え方を変え、体制を立て直し、しなやかに、力強く生きていくことのできる人になってもらいたいということです。私は、青春時代を過ごす、すべての生徒諸君に、「君はどう生きるのか」という質問を投げかけたい。生徒諸君は、これからは常に、自分と向き合い、自分自身に問いかけるのです。「自分は何者なのか」「自分はどう生きていくのか」ということを、決して逃げることなく、ごまかすことなく自分自身に問い続けるのです。答えなど出ない者がほとんどであることをはじめに言うておきます。それでもなお、迷い続け、悩み続けるのです。青春とは孤独な自分と向き合い、自分の生きる道を選び、一步を踏み出す勇気を育てる時期のことをいうのです。流れに任せて、時間の無駄遣いをしているほど、君達の青春時代は長くはありません。悩んだとき、困ったときには、遠慮することなく、仲間や先生に助けやアドバイスを求めてよいのです。しかし、最後は自分で考え、自分で決断し、自分の責任で、誇り

を持って信じた道を進むことが大切です。卒業とは、そのための一歩を踏み出す時をいうのです。中学時代とは、迷い、悩み、もがき苦しみながら、自分がどう生きるかを考える時なのです。そして、生活を共にする仲間がみな、自分と同様に、不安や悩みを抱えながら努力をしていることを知るでしょう。そこにこそ、本当に分かり合える友情が生まれるのです。不安をごまかすために群がり、楽しいだけの話をする人間関係が友情ではありません。みなさんがやがて、卒業の時期を迎えた時、そして卒業後何年たっても変わらぬ友情を感じ、付き合えるかどうかは、うわべだけのたわいのない会話に終始する仲間との付き合いを捨て、一生懸命に中学時代を送ったかどうかにかかっているのです。そうした生活を送っている者かどうかは、元気の良い挨拶や正々堂々とした態度に現れます。飯沼中学校の生徒諸君にとって、今日から始まる2学期が充実したものになることを願ってやみません。健康に気をつけ、元気いっぱい明るく過ごすとともに、中学生としてよく考えて毎日を過ごすことを忘れないでください。

2つ目です。先週の8月15日は、何の日だったか覚えていますか。終戦記念日でしたね。今年もテレビや新聞で特集が組まれていましたが、生徒諸君は、戦争について何かを考えたりしたでしょうか。今から75年前の夏、日本は、太平洋戦争、第二次世界大戦ともいいますが、戦争をし、そして敗戦となりました。詳しい歴史的な事実につきましては、社会科の歴史で学ぶことと思います。小学校や中学校の国語や道徳でも戦争を取り扱った教材を読み、胸が締め付けられるような、悲しい気持ちや、戦争が怖いという気持ちになったことを覚えていると思います。今、そして未来を生きる君達に、改めて心に刻んでもらいたいことは、「何があろうとも、決して戦争をしてはならない」ということ。このことは、戦争という大きな事柄についてだけではありません。身の周りの生活の中で、物事の解決のための手段として暴力を使ってはならないということが出発点なのです。どんな理由があっても、相手に暴力を行うことは許されないことだということを心に刻んでください。これからも、8月15日の終戦記念日は、国の為、故郷の為、家族の為、命を落とした兵隊さんをはじめ、戦争で命を失ったすべての方々のご冥福を心からお祈りするとともに、私達がいま、安心して過ごすことのできる豊かで平和な暮らしを作り、守り抜いてくださった当時の人達へ感謝をする日でありたいものです。さらに、今そして未来を生きる私達は、二度と戦争を起こさないことを誓い、次の世代にもこのことを伝える責務があることを認識する日とし、命を大切に、精一杯生きることを誓う日にしたいものです。

令和2年8月21日 春日部市立飯沼中学校長